令和元年度琴浦町事業レビュー　町民評価員事前研修会アンケート

開催日：令和元年9月23日(月)秋分の日

1．基礎情報

◆性別･年齢	回答数
女性	**12**
20代	1
30代	1
40代	1
50代	2
60代	7
男性	**19**
20代	3
30代	1
50代	2
60代	10
70代	1
80代	2
未回答	**1**
70代	1
計	**32**

◆職業	回答数
会社員	7
公務員	1
自営業	2
主婦（夫）	5
学生	3
その他	14
計	**32**

2．アンケート情報

(1) -1この研修は必要性を感じるものでしたか？	回答数
とても感じる	19
やや感じる	11
あまり感じない	1
未回答	1
計	**32**

(1) -2上記回答の選択の理由等

●あまり興味がなかった町政に関心が持てた
●いきなり本番では難しかったと思う
●たいへん勉強になりました
●レビューがどんなものかがわかるため
●感じますが、このやり方で町民としての私たちの意見がきちんと届くのか？少し不安に思います。書いても読んでもらえなければ伝わらない.
●急に本番ではなくてよかった。心づもりができた。
●交付金の使い途がよく分かった
●行政への無関心が集落をダメにするから
●財政再建団体になってはダメだ
●事業が他人事からとても身近になった
●事業レビューの制度、やり方が理解できなければ評価ができない（参加した意味がある）
●事業レビューをやったと言うパフォーマンスで終わってはダメだと思う.
●事業レビュー自体がどう言うものかをあまり理解していなかったので、研修に参加して、事業レビュー自体が理解できた
●事業内容等の説明があり、いろいろな意見を聞くことができる
●事前研修があり、評価のポイントがわかったから
●実施内容がよくわかった
●住民が調整の税金の無駄遣いを削減するのに有効
●前回は施設、今回は事業でまた勝手が違うので参考になった
●他の県のやり方も話してくださり、いろいろな意見を聞くことができた.
●町財政に関心を持ち、町政刷新の原動力にしたいもの
●町民（納税者）の方が詳しく知っておくべきこと
●町民の行政への関心を高めることができる。最終効果、目標も示すべき。

●やり方を知るためには、実際やってみないと分からないため、研修は必要

(2) 内容に対し、研修時間は適切でしたか？	回答数
適切である	23
長い	6
短い	2
未回答	1
計	32

(3) 研修内容を理解できましたか？	回答数
理解できた	13
おおよそ理解できた	18
あまり理解できなかった	1
総計	32

(4) -1これから行う事業レビューに対して不安はありますか？	回答数
不安はある	3
やや不安はある	13
あまり不安はない	9
不安はない	5
未回答	2
総計	32

(4) -2不安だと思う点や疑問点がありましたら、お書きください。
●テーマについてなぜ町民評価員が必要か説明して欲しかった
●関心のある者が少ない
●行政に関わらずに生活しているのでよくわからない言葉などがあってわかりにくい
●審議員による質問内容、議論が評価に大きく影響する。評価員にも質問の機会が必要と思われ
●責任重大だと思ってしまった
●評価、判断時間が少ない。少時間で判断が不可能です。少し考えさせて欲しい
●評価員のディスカッションの時間を設けて欲しい
●聞き取りにくいところがあり、もう少し大きな声でゆっくり話すことが大切
●面白いと思う。知らないことが分かる
●本題に関連して説明される制度等の意味がすぐには理解できないところがあった。これから「もっと知りたい琴浦町」等を読んで勉強しておかなければならないと思います。
●コストカットで議論すれば話が行き詰る。増税、税収の議論も必要
●話し合いが行政同士の披露のしあい感があり、評価員が蚊帳（かや）の外であったので参加者が減るもしくは同一人物になりやすい心配がある
●町民が意見を言う時間がどれだけ取れるのか（研修では発言の時間が少ない）
●財源（町の収入）に対してコストが多いのか、少ないのかの基準が分からない
●町民の方が専門的な言い回しを理解できるのか、それが評価に正しくつながらない恐れがあるのでは。（公共施設レビューより内容が難解）
●本当に想いが届くのか
●意見を聞いているだけ？聴きながらメモも大変でした
●勉強不足でした（税の使い方など）

(5) 今回の事業レビューは、行財政改革の手法として有効だと思いますか？	回答数
有効だと思う	16
まあ有効だと思う	13
未回答	3
総計	32

(6) 今回の研修に関する意見・感想がありましたらご記入ください。
●コーディネーターの方の役割は大切だと思った。議論における各段階においてのまめな小括は理解を会場全体で共有する上で実施をしっかりすべき
●結果についてPDCAのPについての広報が必要ではないか
●行政に対する考え方が変わってくると思う
●行政の説明者は配布した資料と同じページを提示して、説明してほしい。早口にならないで欲しい!
●出来るだけ多くの意見や判断が必要です。
●全体的に説明がピンとこなかった

●町民が町政に関心を持つことが大切で、毎年1回はやっていただきたい
●評価員のディスカッションの時間を設けて欲しい
●模擬レビューの説明が長すぎる。30分以内が良いのでは
●時間の許す限り参加したい
●聞いているだけで‥‥。町長さんが最後に言われましたが、町民の生の声を聞くのも大切だと思い
●参加者が少ない。この状態でレビューで出た結論をそのまま実行というのは、いかがなものかと思う。
●審議員の質問事項は、事前に説明者へ伝わっているのでしょうか？レビュー当日に短時間で効果的な議論を行うため荷は、事前に質問事項を伝え、相応の準備をしておいてもらった方が良いと思います。
●他の制度と切り離して単独では議論することのできない問題が多いのではないかと思った。(存続・廃止を判断できない)
●(事業レビューを)今後も行って欲しい
●コーディネーター、審議員、役場担当者の話の内容、説明が大変分かりやすかった
●有意義な研修会であった
●交付金の使い方が分かった。自治会での総会では説明を聴いたことがない。区長に説明がしてあるのか。「もっと知りたい琴浦町」はもらえるのか。
●(最終的には、議会の議決が必要なため、)意見を発するのみで、役場もレビューを実施した実績だけで、この回の意見が実行されるか心配な面もある
●自分が納めている税金の行き先にも関わることなのでそれによって将来の町行政も変わってくるので大変良いことだと思う。
●当初は有効だと思っていましたが、審議員の質問に担当課が答える様子を見ているだけで、不安がいっぱいです。